

瞬快 Ver.10a
アップデート手順書

2011 年 4 月 27 日 初版
株式会社 富士通四国システムズ

目次

I.	初めにお読みください	3
II.	瞬快クライアントを瞬快サーバに接続して運用している場合	4
1.	アップデート概要図	4
2.	事前作業	5
A)	瞬快サーバにクイックアップデート サーバ機能をインストールします	6
B)	瞬快コンソールにクイックアップデート エージェント機能をインストールします	7
C)	瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールします	8
D)	瞬快サーバ(中継サーバ)に簡易 HTTP サーバを使用する場合	10
E)	瞬快サーバ(中継サーバ)に IIS を使用する場合	11
F)	瞬快サーバ(中継サーバ)のクイックアップデート環境設定を行う	11
3.	作業フロー	13
4.	作業手順	14
A)	瞬快クライアントにクイックアップデートのポリシーを適用します	14
B)	瞬快サーバからアップデートプログラム同期を行います	16
C)	瞬快サーバのアップデートを行います	17
D)	瞬快コンソールのアップデートを行います	18
E)	瞬快クライアントのアップデートを行います	20
5.	追加情報	22
A)	ポリシー反映する前に瞬快サーバのアップデートを行った場合の対応について	22
III.	瞬快クライアントをスタンドアロンで運用している場合	23
1.	アップデート概要図	23
2.	事前確認	24
A)	瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールします	25
B)	クイックアップデート エージェント機能の環境設定を行います	26
3.	作業フロー	27
A)	瞬快クライアントのアップデートを行います	28

I. 初めにお読みください

本手順書は、クイックアップデート機能を使用して、瞬快 Ver.10 を Ver.10a にアップデートするための手順書です。アップデート作業を行う前に必ず一読ください。

本手順書は、瞬快 Ver.10 から Ver.10a にアップデートを行うための特別な手順書です。
本手順書では、瞬快 Ver.10 導入ガイドを参照しますので、導入ガイドを手元にご準備ください。

■注意事項1

製品のアップデートのために、ただちにコンピュータの再起動が行われる場合があります。アップデート作業前にコンピュータの再起動が可能であることを必ずご確認ください。

■注意事項2

クイックアップデート機能は、製品をアップデートするためのアップデートプログラムを瞬快システムセンターからダウンロードします。よって、運用環境により以下の確認が必要です。

● 瞬快クライアントを瞬快サーバに接続して運用している場合

瞬快サーバ（クイックアップデート サーバ機能）がインストールされたコンピュータはインターネットに接続ができる必要があります。

● 瞬快クライアントをスタンドアロンで運用している場合

瞬快クライアント（クイックアップデート エージェント機能）がインストールされたコンピュータはインターネットに接続ができる必要があります。

■注意事項3

Windows のリモートデスクトップ機能を使用してサーバを遠隔操作している場合、アップデート実行時の確認画面、進捗画面は実機のモニターに表示されます。

■注意事項4

本手順書の操作例は以下の環境になります。他の OS では操作方法が一部異なる場合があります。

瞬快サーバ： Windows Server 2008 R2 64 ビット 日本語版

瞬快コンソール： Windows 7 Professional 32 ビット 日本語版

瞬快クライアント： Windows 7 Professional 32 ビット 日本語版

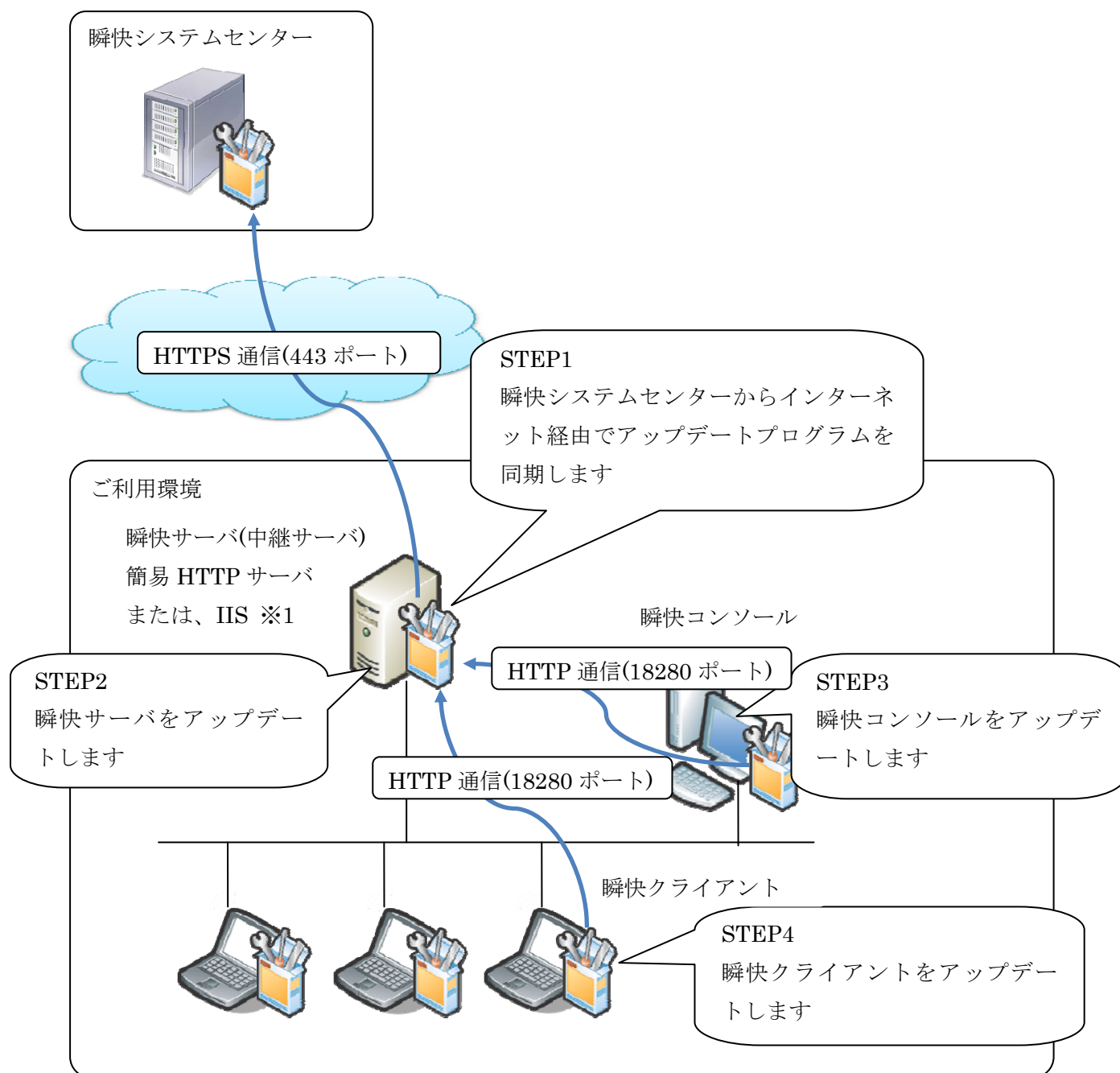
瞬快クライアントを瞬快サーバに接続して運用されている場合は、
「II 瞬快クライアントを瞬快サーバに接続して運用している場合 (P.4)」を参照ください。

瞬快クライアントをスタンドアロン運用されている場合は、
「III 瞬快クライアントをスタンドアロンで運用している場合 (P.23)」を参照ください。

II. 瞬快クライアントを瞬快サーバに接続して運用している場合

本章は、瞬快クライアントを瞬快サーバに接続して運用している環境において、瞬快サーバが中継サーバとして瞬快システムセンターからアップデートプログラムを同期して、瞬快コンソール、瞬快クライアントにアップデートプログラムを適用するまでの手順を示します。

1. アップデート概要図



※1 瞬快サーバ（中継サーバ）から瞬快コンソールおよび、瞬快クライアントが HTTP 通信でアップデートを適用するためには、瞬快サーバにクイックアップデート サーバ機能の「簡易 HTTP サーバ」または、Windows OS 標準の「IIS(Internet Information Server)」による Web サイトの構築が必要です。

2. 事前作業

以下の事前作業は、導入ガイドによる各クイックアップデート機能のインストールを行っていない方が対象です。各クイックアップデート機能の導入作業を完了している場合は、「**3 作業フロー (P.13)**」から作業を進めてください。

- クイックアップデート機能のインストールを行う場合は、以下を参照してください。

A) 瞬快サーバにクイックアップデート サーバ機能をインストールします (P.6)

B) 瞬快コンソールにクイックアップデート エージェント機能をインストールします (P.7)

C) 瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールします (P.8)

- 瞬快サーバ（中継サーバ）に簡易 HTTP サーバを使用する場合は、以下を参照ください。

D) 瞬快サーバ(中継サーバ)に簡易 HTTP サーバを使用する場合 (P.10)

同時にアップデートする瞬快クライアント数が 25 台以下の場合、簡易 HTTP サーバによる Web サイトが使用可能です。

例えば、50 台の瞬快クライアントに対して、25 台ずつ 2 回に分けてアップデート指示を行うことで 50 台の環境に対応することも可能です。

- 瞬快サーバ（中継サーバ）に IIS を使用する場合は、以下を参照ください。

E) 瞬快サーバ(中継サーバ)に IIS を使用する場合 (P.11)

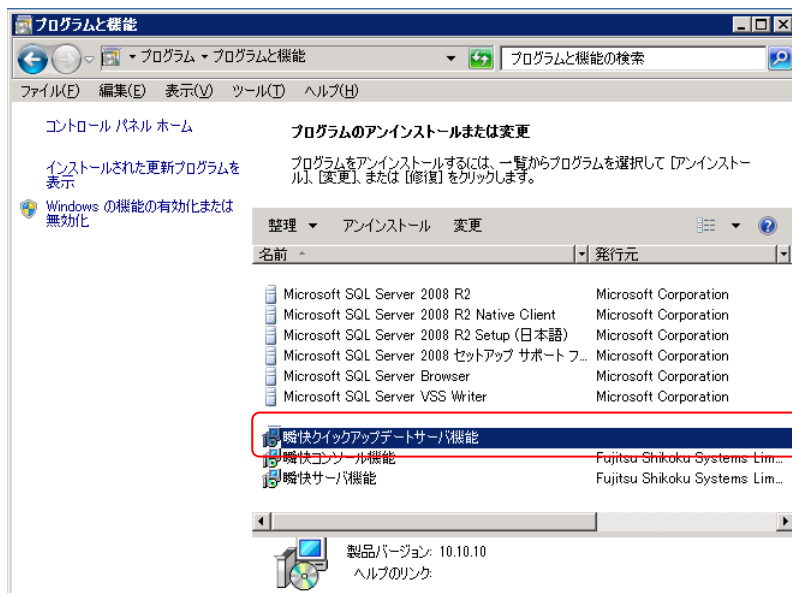
同時にアップデートする瞬快クライアント数が 25 台を超える場合、IIS による Web サイトを推奨します。

- 瞬快サーバ（中継サーバ）のクイックアップデート サーバ機能の環境設定を行う場合は、以下を参照ください。

F) 瞬快サーバ(中継サーバ)のクイックアップデート環境設定を行う (P.11)

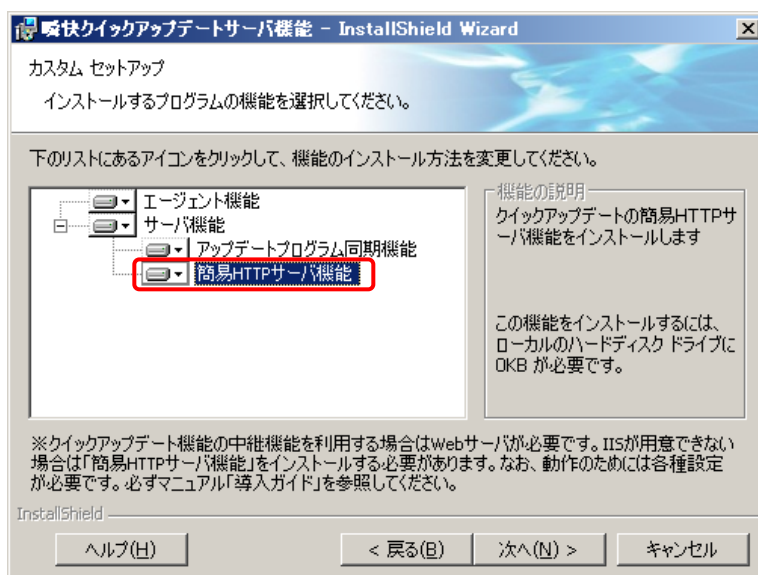
A) 瞬快サーバにクイックアップデート サーバ機能をインストールします

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]を選択します。
- ② プログラムと機能画面に「瞬快クイックアップデート サーバ機能」が表示されていれば、インストールされています。



- ③ クイックアップデート サーバ機能がインストールされていない場合は、**導入ガイド「2.3.3 クイックアップデートサーバ機能のインストール (P.59)」**を参照して、瞬快サーバにクイックアップデート サーバ機能をインストールしてください。

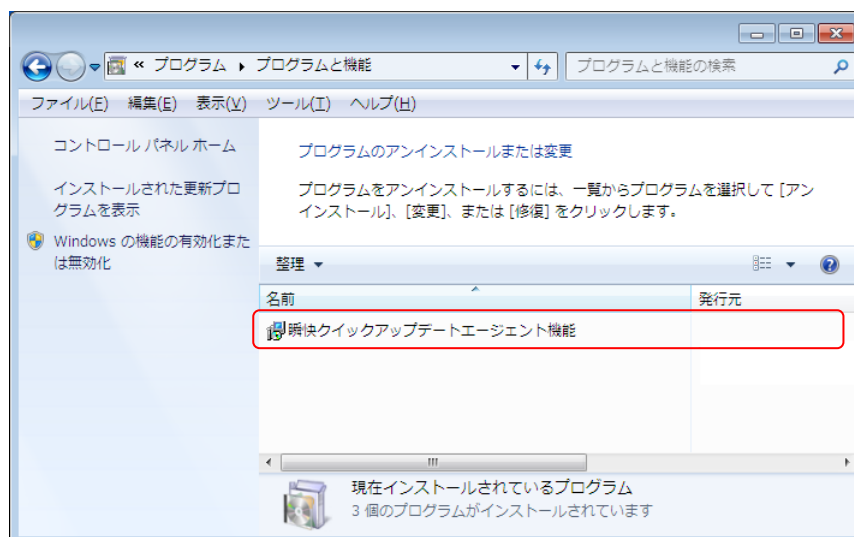
簡易 HTTP サーバを使用する場合は、クイックアップデート サーバ機能のインストール時に [簡易 HTTP サーバ機能] を選択してください。



B) 瞬快コンソールにクイックアップデート エージェント機能をインストールします

コンピュータに瞬快コンソールのみをインストールしている場合は、クイックアップデート エージェント機能をインストールします（以降、瞬快サーバと別居のため、別居環境と呼びます）。

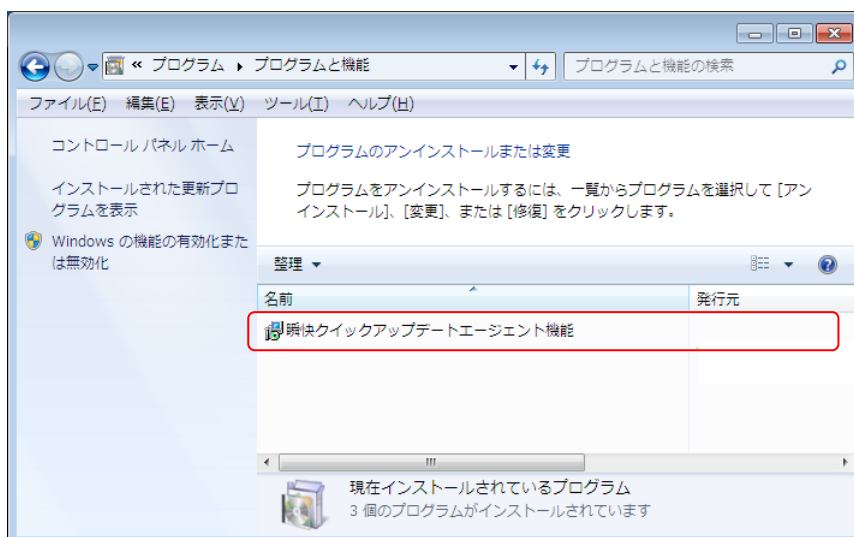
- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]を選択します。
- ② プログラムと機能画面に「瞬快クイックアップデート エージェント機能」が表示されていれば、インストールされています。



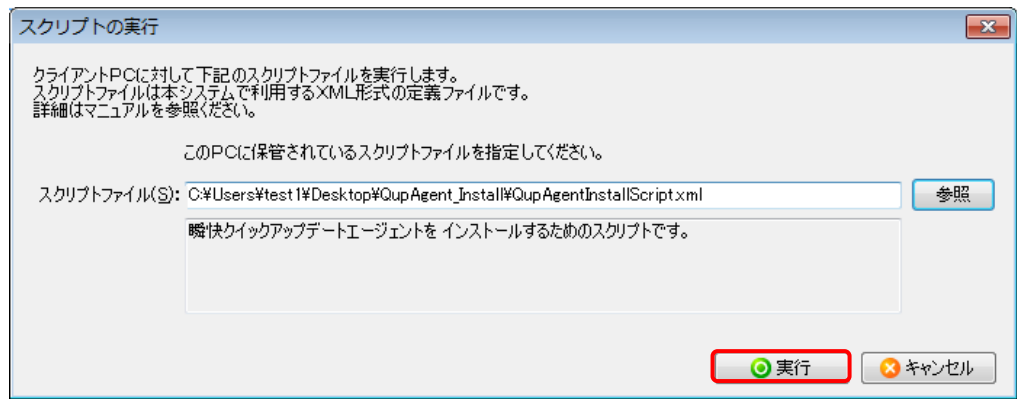
- ③ クイックアップデート エージェント機能がインストールされていない場合は、**導入ガイド「2.4.3 クイックアップデート エージェント機能のインストール (P.85)」**を参照して、瞬快コンソールにクイックアップデート エージェント機能をインストールしてください。

C) 瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールします

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]を選択します。
- ② プログラムと機能画面に「瞬快クイックアップデート エージェント機能」が表示されていれば、インストールされています。



- ③ クイックアップデート エージェント機能が未インストールの場合は、以下の手順で、瞬快クライアントにクイックアップデートエージェント機能をインストールしてください。
 1. 瞬快クライアント機能を修復無効モードに変更します。
 2. 瞬快コンソールがインストールされている PC に任意のフォルダを作成し、その中に以下のインストーラとスクリプトファイルをコピーします。
 - クイックアップデートエージェントインストーラ
(瞬快 DVD-ROM¥QUP¥BzQupAgSetup.exe)
 - インストール用スクリプト
(本手順書と同じフォルダに格納している QupAgentInstallScript.xml)
 3. [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[コンソール機能]を起動します。
 4. [機器管理]-[PC 管理]-[スクリプト実行]ボタンをクリックします。
 5. 「参照」ボタンをクリックし、スクリプトファイルを指定します。
 - 1.でコピーした QupAgentInstallScript.xml を指定します。

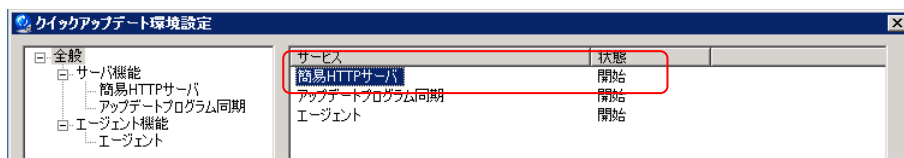


6. 「実行」ボタンをクリックします。
クイックアップデートエージェント機能インストーラがクライアント PC に転送され、サイレントインストールが実行されます。
7. ②の方法で、クイックアップデートエージェント機能がインストールされていることを確認します。

D) 瞬快サーバ（中継サーバ）に簡易 HTTP サーバを使用する場合

瞬快サーバ(中継サーバ)の Web サイトにクイックアップデートの簡易 HTTP サーバを使用する場合は、以下の設定を行います。

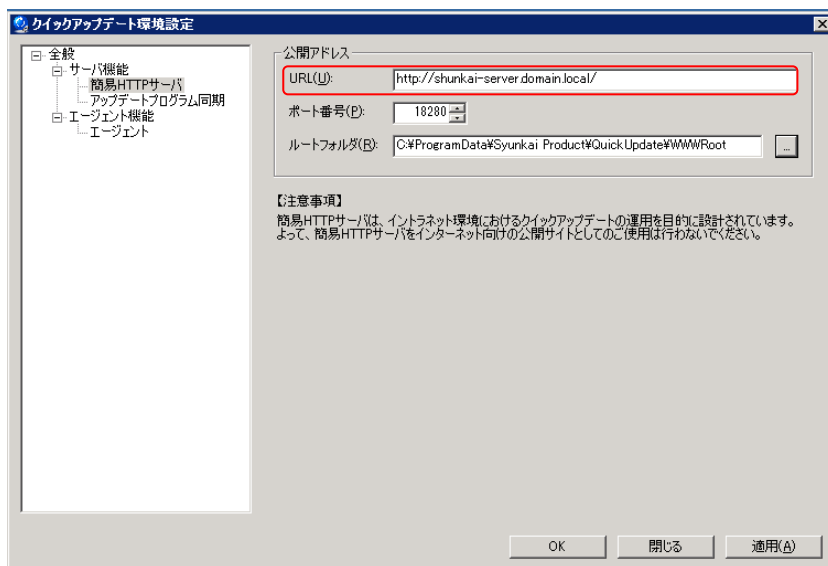
- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]-[環境設定]を起動します。
- ② 「全般」をクリックして「簡易 HTTP サーバ」サービスの状態が「開始」になっていることを確認します。



「簡易 HTTP サーバ」が表示されていない場合は、クイックアップデート サーバ機能のインストーラをもう一度実行し、「変更」を選択して「簡易 HTTP サーバ」機能を追加してください。「簡易 HTTP サーバ」サービスの状態が「停止」になっている場合は、【開始】ボタンをクリックして「簡易 HTTP サーバ」サービスを「開始」の状態にしてください。

- ③ 「簡易 HTTP サーバ」をクリックして以下の設定を行います。

URL = <http://瞬快サーバのアドレス/>



瞬快のサーバアドレスには、FQDN 名、NETBIOS 名、IP アドレスを指定することが可能です。 例) <http://192.168.100.15/>

- ④ [OK]をクリックして、クイックアップデート環境設定画面を閉じます。
- ⑤ 導入ガイド「2.3.3 クイックアップデートサーバ機能のインストール ■Windows ファイアウォールの設定 (P.65)」を参照して、Windows ファイアウォールの設定を行います。

E) 瞬快サーバ（中継サーバ）に IIS を使用する場合

瞬快サーバ(中継サーバ) の Web サイトに IIS を使用する場合は、以下の設定を行います。

- ① 導入ガイド「2.3.3 クイックアップデートサーバ機能のインストール ●IIS の設定 (P.63)」を参照して、IIS の Web サイトを構築します。
- ② 導入ガイド「2.3.3 クイックアップデートサーバ機能のインストール ■Windows ファイアウォールの設定 (P.65)」を参照して、Windows ファイアウォールの設定を行います。

F) 瞬快サーバ（中継サーバ）のクイックアップデート環境設定を行う

- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]-[環境設定]を起動します。

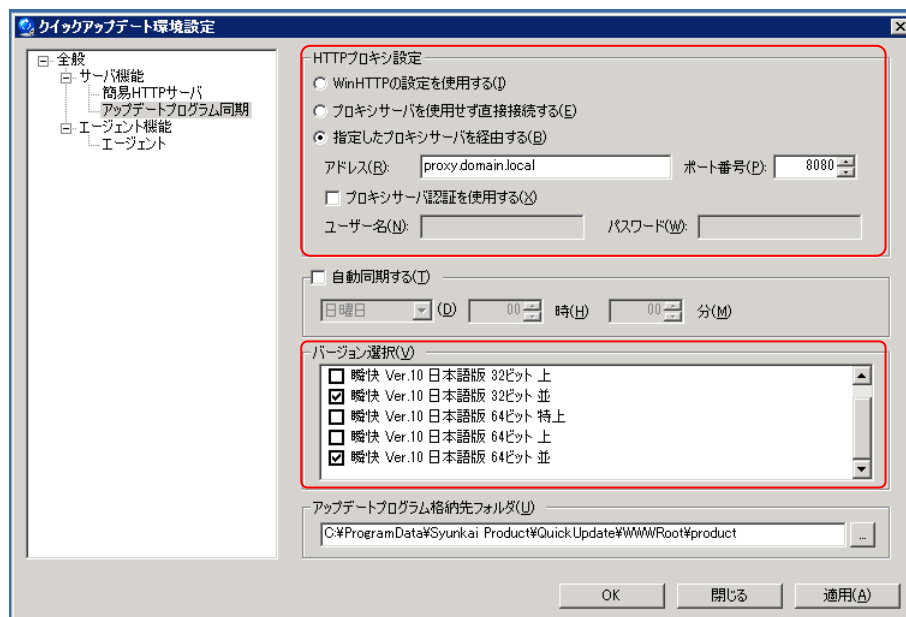
- ② 「アップデートプログラム同期」をクリックして、以下の設定を行います。

HTTP プロキシ設定： インターネット接続にプロキシサーバを使用する場合はプロキシ情報を設定します。

バージョン選択： 例)瞬快 Ver.10 並の 32 ビットと 64 ビット製品を使用する場合は、以下をチェックしてください。

[レ]瞬快 Ver.10 日本語版 32 ビット 並

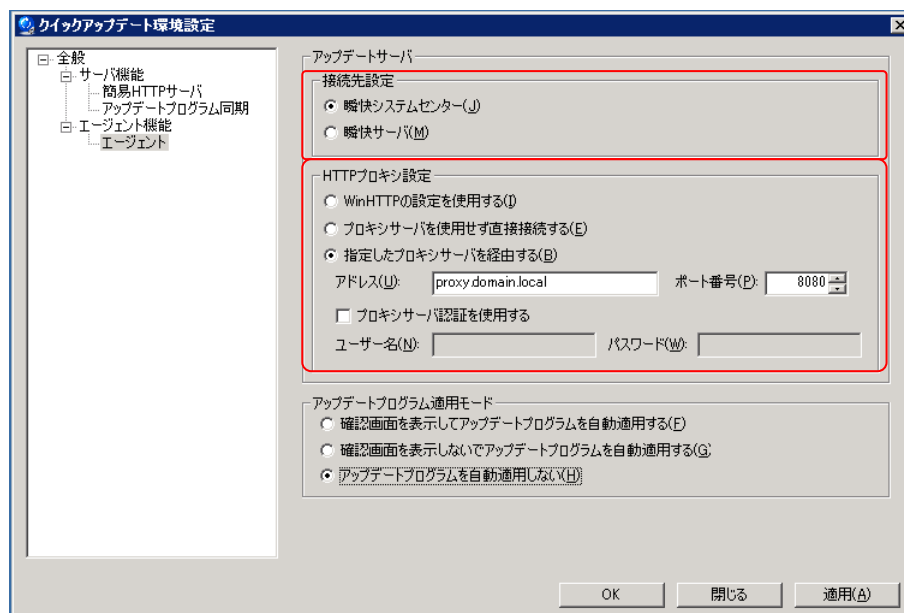
[レ]瞬快 Ver.10 日本語版 64 ビット 並



- ③ 「エージェント」をクリックして、以下の設定を行います。

接続先設定： 「瞬快システムセンター」を選択します。

HTTP プロキシ設定： インターネット接続にプロキシサーバを使用する場合はプロキシ情報を設定します。



- ④ [OK]をクリックしてクイックアップデート環境設定画面を終了します。

3. 作業フロー

以下に作業フローを示します。



4. 作業手順

A) 瞬快クライアントにクイックアップデートのポリシーを適用します

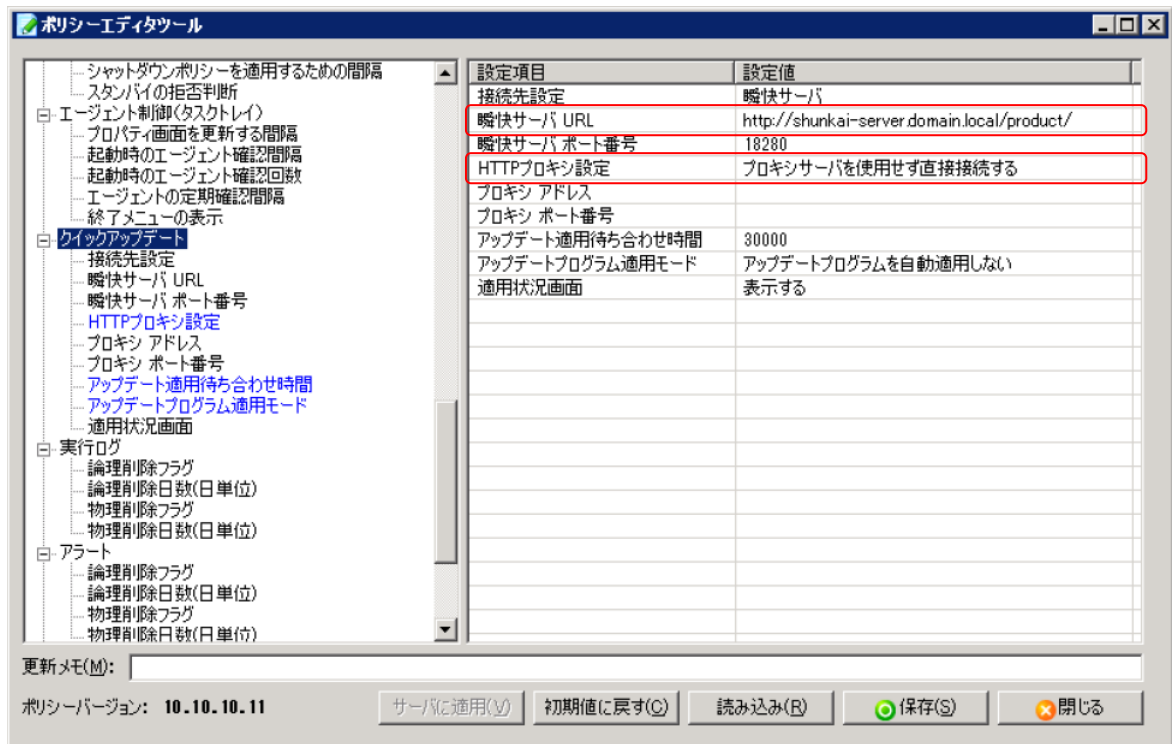
クイックアップデートのポリシーを瞬快クライアントに適用します。

- ① 瞬快サーバのポリシーエディタツール(C:\Program Files (x86)\Syunkai Product\Server\PolicyEditorKicker.exe)を起動します。

- ② クイックアップデートの設定が以下の通りであることを確認してください。

接続サーバ URL : <http://瞬快サーバのアドレス/product/>

HTTP プロキシ設定 : プロキシサーバを使用せず直接接続する

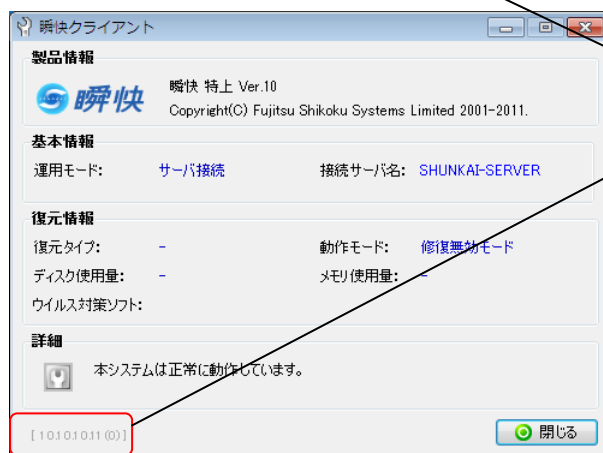
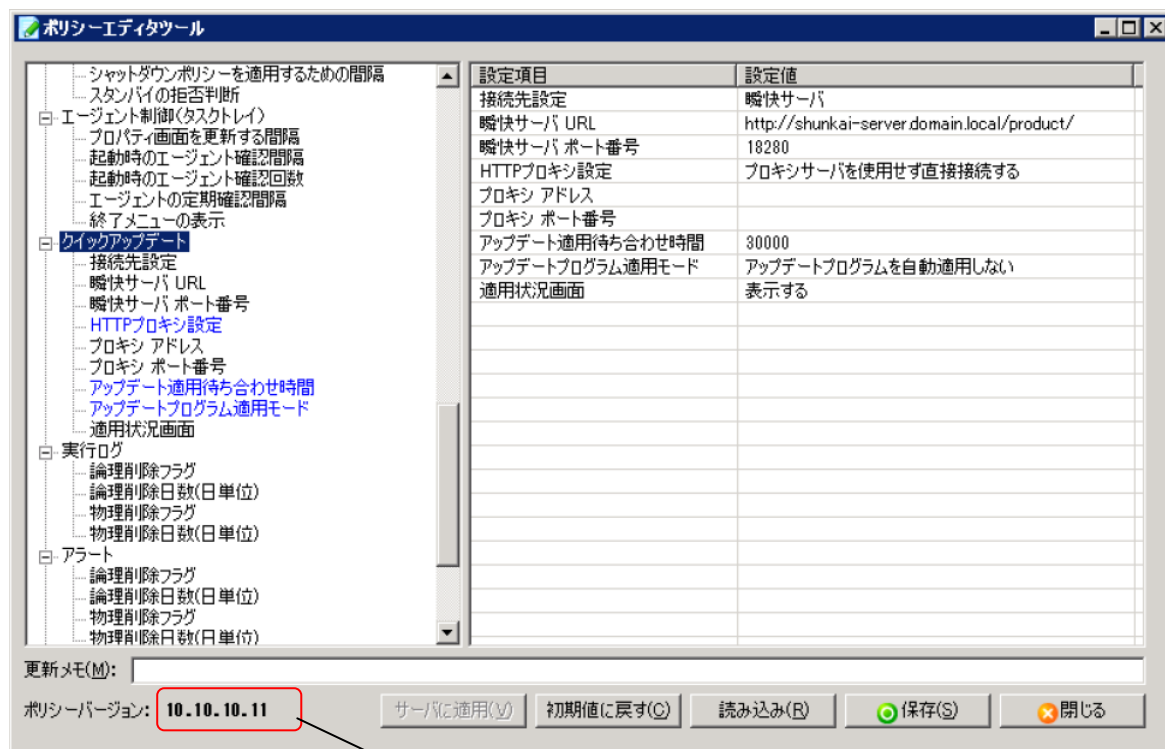


瞬快のサーバアドレスには、FQDN 名、NETBIOS 名、IP アドレスを指定することが可能です。 例) <http://192.168.100.15/product/>

- ③ 設定変更を行った場合は、[保存]→[サーバに適用]の順番でボタンをクリックし設定を反映した後、ポリシーエディタツールを閉じます。
- ④ ポリシーエディタツールで設定した内容を瞬快クライアントに反映するために、瞬快コンソールからアップデートを行う瞬快クライアントを修復無効モードに変更して再起動を行います。

※既に、修復無効モードである場合も再起動を行ってください。設定されたポリシーは、瞬快クライアントが起動するタイミングで反映されるためです。

- ⑤ 正常にポリシーが適用されているかどうかを確認するには、瞬快クライアントのプロパティ画面を表示します。プロパティ画面に適用後のポリシーバージョンが表示されます。
- 瞬快クライアントのプロパティを表示するには、瞬快クライアントのタスクトレイの瞬快アイコンを右クリックして、[プロパティを表示する]を選択します。



ポリシーバージョンが一致することを確認してください。

B) 瞬快サーバからアップデートプログラム同期を行います

- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]- [アップデートプログラム同期]を選択します。

同期が完了するまで、3 分～5 分かかります。

- ② 同期に成功した場合、以下のメッセージが表示されます。

“アップデートプログラムの同期が成功しました。”

【補足事項 1】

クイックアップデートの環境設定で自動同期を有効にしている場合は、既に同期されており、以下のメッセージが表示される場合があります。

“同期可能なアップデートプログラムはありませんでした。”

【補足事項 2】

正常にアップデートプログラムの同期が行われた場合は、Windows のアプリケーションログに以下のような情報が出力されます。



【補足事項 3】

アップデートプログラムの格納先は規定値の場合、以下のフォルダになります。

例) Windows Server 2008 R2 の場合

C:\ProgramData\Syunkai Product\QuickUpdate\WWWRoot\product

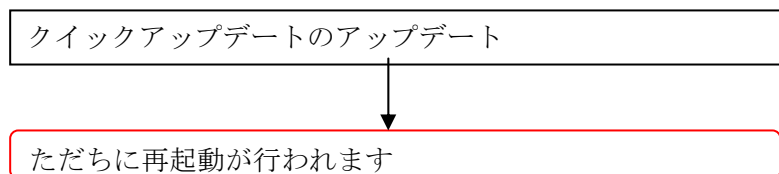
必要容量

グレード	32 ビット	64 ビット
並	約 13MB	約 13MB
上	約 54MB	約 54MB
特上	約 54MB	約 54MB

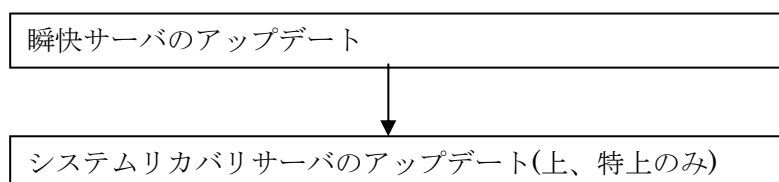
C) 瞬快サーバのアップデートを行います

【注意】瞬快サーバのアップデートでは、コンピュータの再起動が自動的に行われます。そのためサーバ上で再起動が可能な状態であるかどうかご確認の上、以下の操作を行ってください。

- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]- [クイックアップデート実行]を選択します。



- ② 再起動後、再度[スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]- [クイックアップデート実行]を選択します。



- ③ [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]- [クイックアップデート実行]を選択します。以下のメッセージが表示されたら終了です。
“適用可能なアップデートプログラムはありません。”

- ④ 瞬快サーバがアップデートされたことを確認するには、以下のレジストリの Version 値から確認ができます。

- 瞬快サーバの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node ¥
Fujitsu Shikoku Systems Limited¥Syunkai Product¥Server¥Update
Version=10.11.10

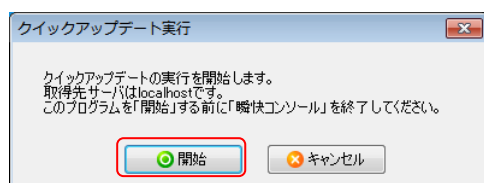
- システムリカバリサーバの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node ¥
Fujitsu Shikoku Systems Limited¥Syunkai Product¥SRO¥Server¥Update
Version=10.11.10

D) 瞬快コンソールのアップデートを行います

【注意】瞬快コンソールのアップデートでは、コンピュータの再起動が自動的に行われます。

- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[コンソール機能]を選択します。
- ② 瞬快サーバにログオンします。
- ③ [ヘルプ]-[クイックアップデートの実行]を選択します。
- ④ 瞬快コンソールを終了して、[開始]をクリックします。

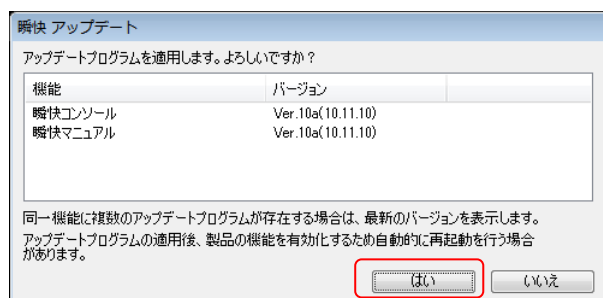


【留意事項】

瞬快コンソールが瞬快サーバと別居環境の場合において、「適用可能なアップデートプログラムはありません」と表示された場合は、以下のサービスを再起動して、③から再実施してください。

Syunkai QuickUpdate Agent Service

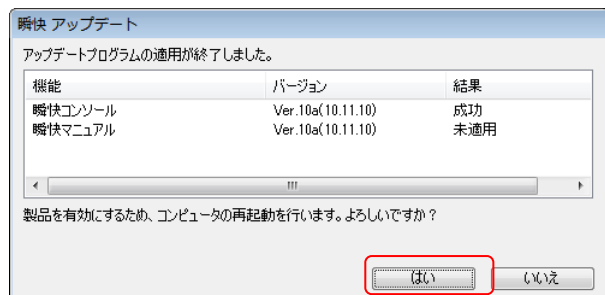
- ⑤ 瞬快コンソールが瞬快サーバと別居環境の場合、クイックアップデート機能のアップデートのために再起動が行われます。再起動後、繰り返し①から実施してください。
- ⑥ 以下の確認画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。



【注意事項】

Windows のリモートデスクトップ機能から操作した場合、本画面は実機のモニターに表示されますので、ご注意ください。

- ⑦ 以下の結果画面が表示された場合は、[はい]をクリックして再起動を行います。



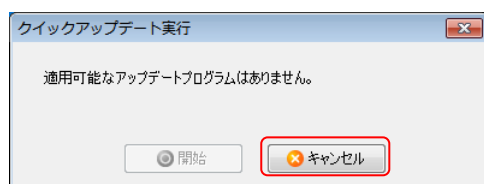
※上記例は、再起動後に引き続き「瞬快マニュアル」のアップデートが必要である場合です。

【留意事項】

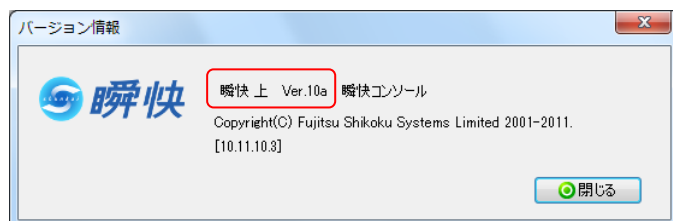
再起動の確認画面で[いいえ]をクリックした場合、以下のエラーコードが表示されますが、アップデートの結果に問題はありません。



- ⑧ アップデート対象に「瞬快マニュアル」が表示された場合は、繰り返し①を実施してください。
以下の画面が表示された場合は、これ以上のアップデート対象機能はありません。



- ⑨ 瞬快コンソールがアップデートされたことを確認するには、[ヘルプ]-[バージョン情報]から確認ができます。



- ⑩ 瞬快マニュアルがアップデートされたことを確認するには、以下のレジストリの Version 値から確認ができます。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥

Fujitsu Shikoku Systems Limited¥Syunkai Product¥Manual¥Update

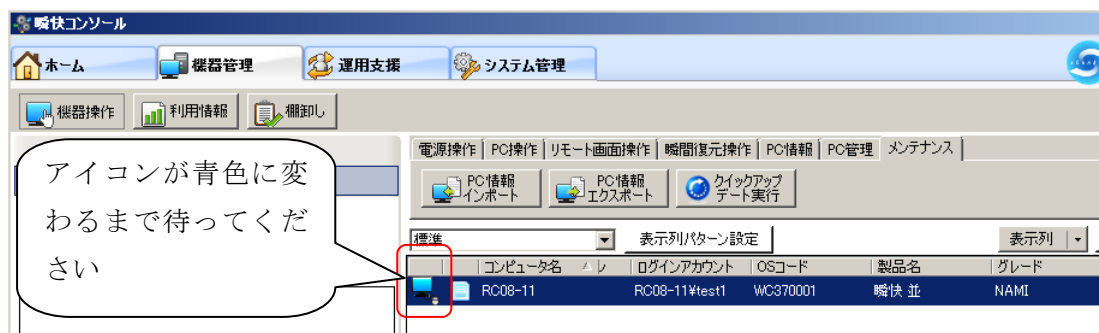
Version=10.11.10

E) 瞬快クライアントのアップデートを行います

【注意】

瞬快クライアントのアップデートでは、コンピュータの再起動が自動的行われます。そのため、アップデート対象の瞬快クライアント上で、瞬快の機能である「スケジュール実行」や「資源配付」、その他 **WindowsUpdate** やソフトのインストール等の操作が実行されていないことを確認してから、アップデートを実施してください。

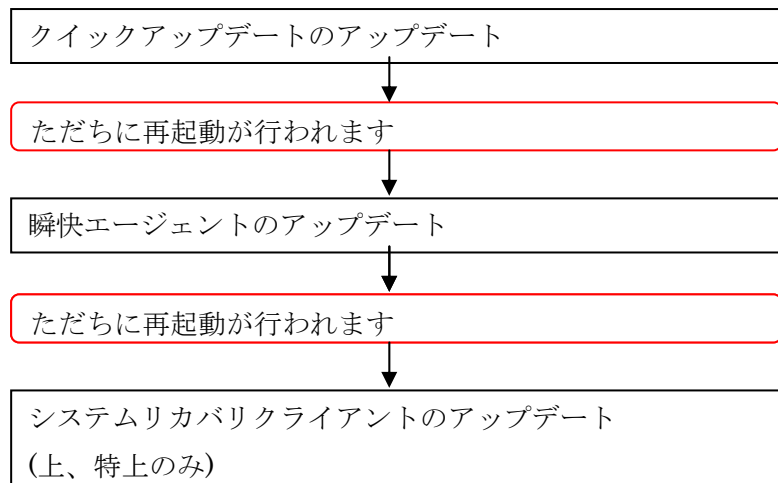
- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[コンソール機能]を選択します。
- ② 瞬快サーバにログオンします。
- ③ 「機器管理タブ」を選択します。
- ④ アップデートする瞬快クライアントを修復無効モードに変更します。
- ⑤ 修復無効モードに変更するために再起動を行った場合は、機器管理画面のクライアントアイコンが青色に変わってから 約 2~3 分待ちます。



※[F5]キーを押すことにより、画面更新が行われます。

- ⑥ アップデートを行うクライアントを選択して、「メンテナンス」タブの[クイックアップデート実行]を選択します。

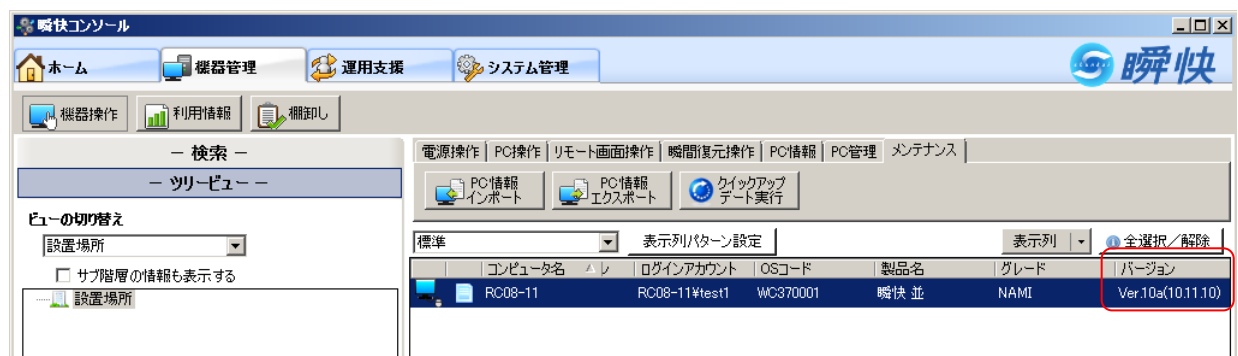
簡易 HTTP サーバを使用して運用している場合は、負荷が集中しないように一度にアップデート実行の指示を行う瞬快クライアント数を 25 台以内にしてください。引き続きアップデート実行の指示を行う場合は、3 分以上時間を空けてから実施してください。



【留意事項】

瞬快 Ver.10(初期出荷版)の場合、瞬快クライアントが起動してから 1 時間以上経過している場合は[クイックアップデート実行]の命令を受け付けませんので、[クイックアップデート実行]の前に瞬快クライアントの再起動を行ってから実施してください。

- ⑦ 瞬快クライアントがアップデートされたことを確認するには、瞬快コンソールの機器管理画面のクライアントのバージョン情報から確認ができます。



一覧にバージョン情報が表示されていない場合は、[表示列]から「バージョン」を選択して追加してください。

- ⑧ システムリカバリクライアントがアップデートされたことを確認するには、以下のレジストリの Version 値から確認ができます。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥

Fujitsu Shikoku Systems Limited¥Syunkai Product¥SRO¥Client¥Update

Version=10.11.10

- ⑨ 瞬快クライアントを修復モードで運用している場合は、修復モードに戻してください。

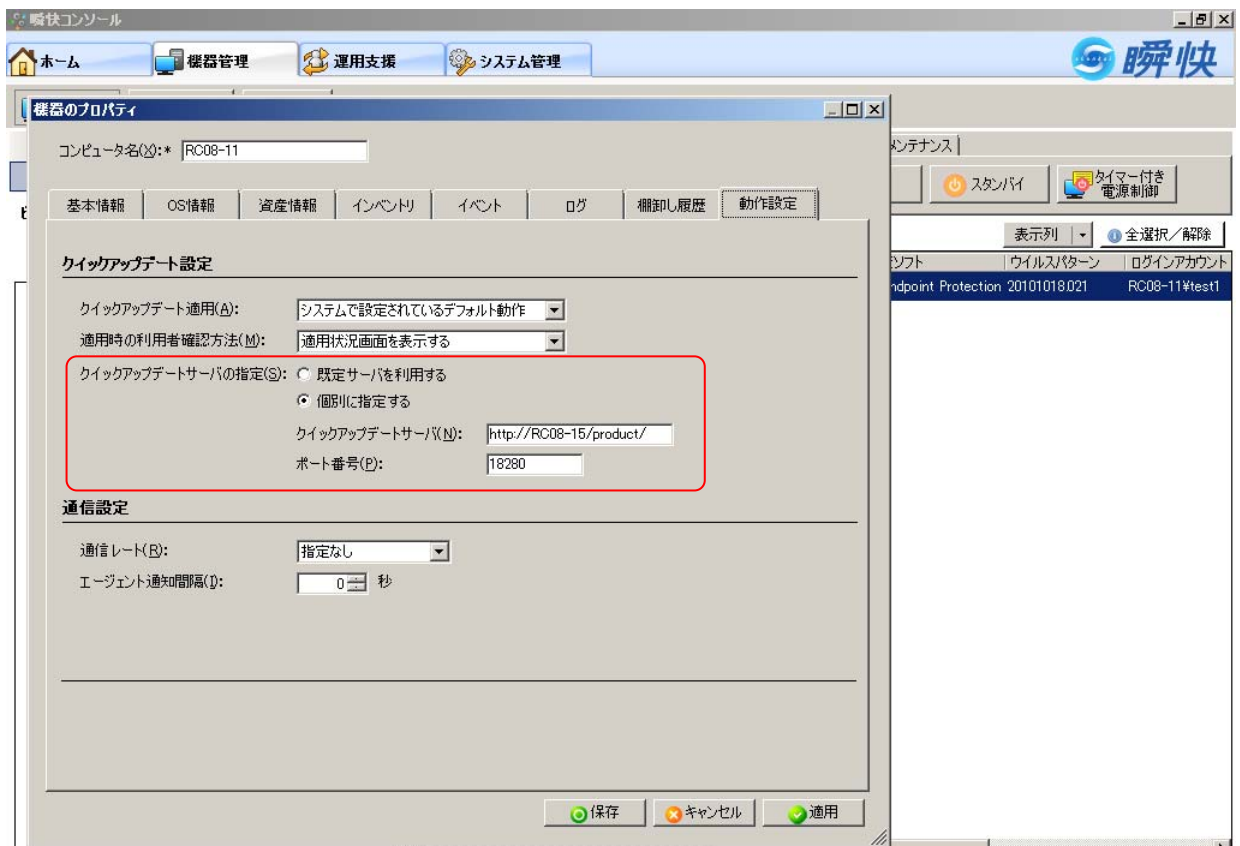
以上で、瞬快 Ver.10a へのアップデートは終了です。

5. 追加情報

A) ポリシー反映する前に瞬快サーバのアップデートを行った場合の対応について

瞬快 Ver.10(初回出荷版)では、「P.14」にある瞬快クライアントへのポリシー反映を実行する際、瞬快サーバと瞬快クライアントは同じ版数である必要があります。もしポリシーを反映する前に瞬快サーバを V10a にアップデートしてしまった場合は、以下の方法で後から「瞬快サーバの URL」を設定することが可能です。

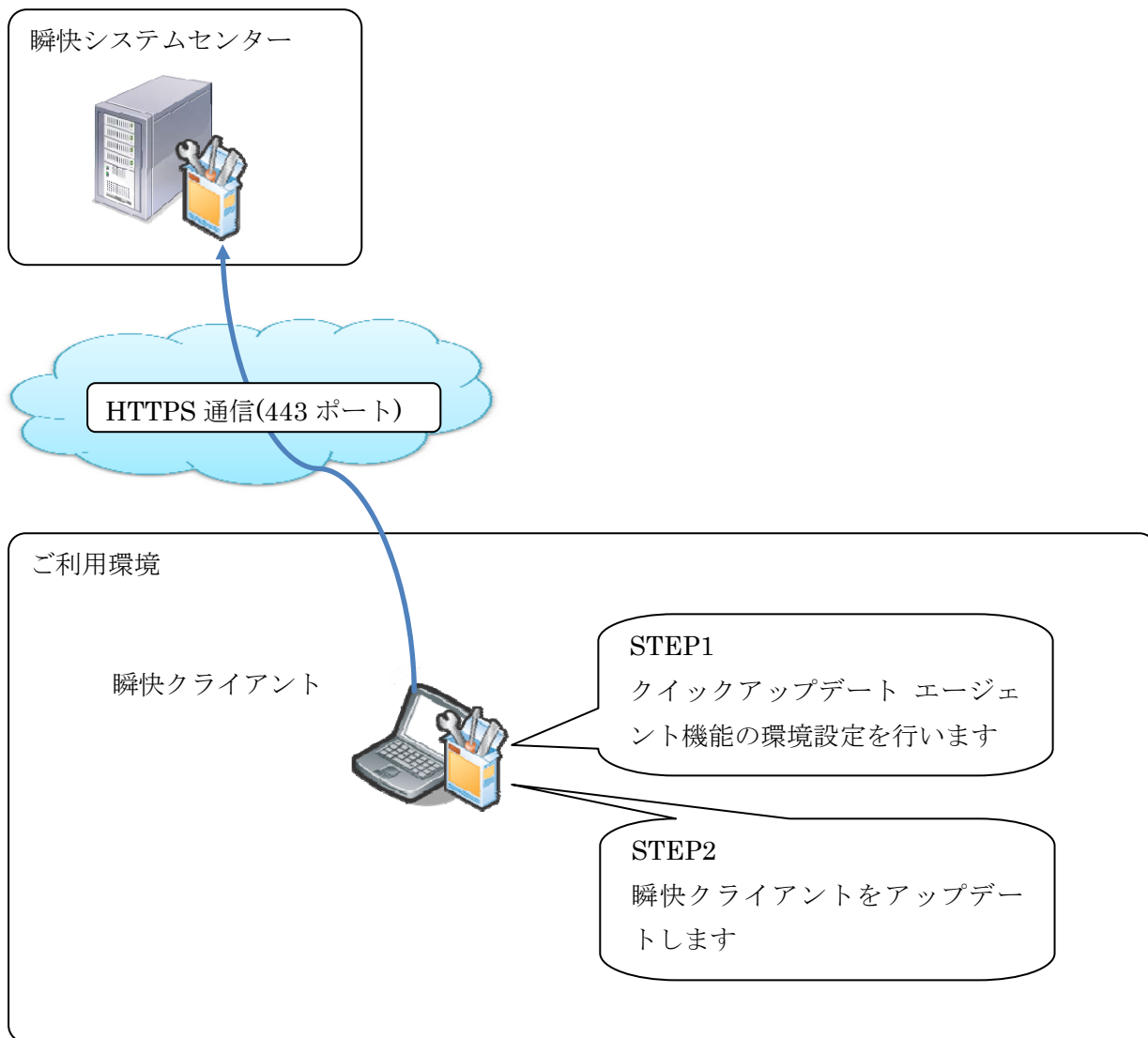
- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[コンソール機能]を選択します。
- ② 瞬快サーバにログオンします。
- ③ 「機器管理タブ」を選択します。
- ④ アップデートを行うクライアントを選択します。
- ⑤ 右クリックして、コンテキストメニューから[プロパティ]を選択します。
- ⑥ [動作設定]のから「クイックアップデートサーバの指定」を「個別に設定する」を選択して、「クイックアップデートサーバ」に「瞬快サーバの URL」と「ポート番号(18280)」を入力します。



III. 瞬快クライアントをスタンドアロンで運用している場合

本章は、瞬快クライアントをスタンドアロンで運用している場合において、瞬快クライアントが瞬快システムセンターからアップデートプログラムをダウンロードして、瞬快クライアントにアップデートプログラムを適用するまでの手順を示します。

1. アップデート概要図



2. 事前確認

以下の事前作業は、導入ガイドによる各クイックアップデート機能のインストールを行っていない方が対象です。各クイックアップデート機能の導入作業を完了している場合は、「**3 作業フロー (P.27)**」から作業を進めてください。

- 瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールする場合は、以下を参照してください。

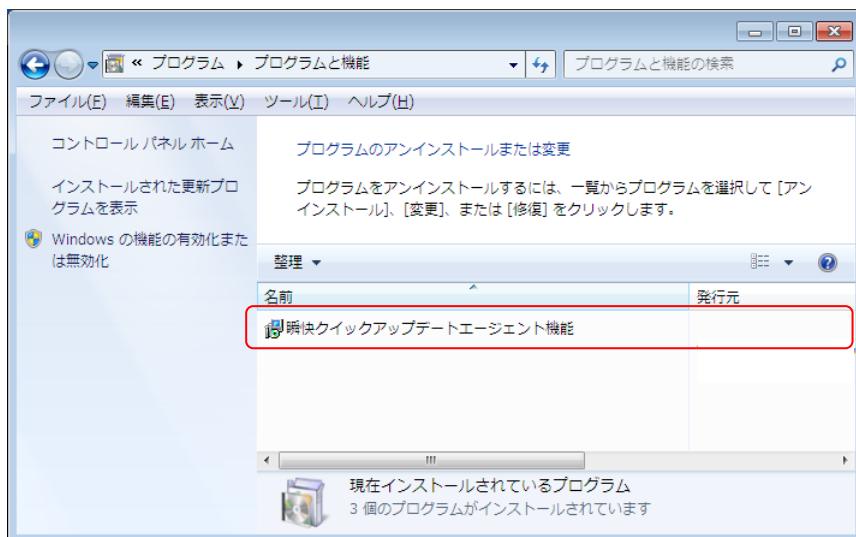
A) 瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールします (P.25)

- クイックアップデート機能の環境設定を行う場合は、以下を参照してください。

B) クイックアップデート エージェント機能の環境設定を行います (P.26)

A) 瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールします

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]を選択します。
- ② プログラムと機能画面に「瞬快クイックアップデート エージェント機能」が表示されていれば、インストールされています。



クイックアップデート エージェント機能がインストールされていない場合は、**導入ガイド「2.5.2 クイックアップデート エージェント機能のインストール (P.92)」**を参照して、瞬快クライアントにクイックアップデート エージェント機能をインストールしてください。

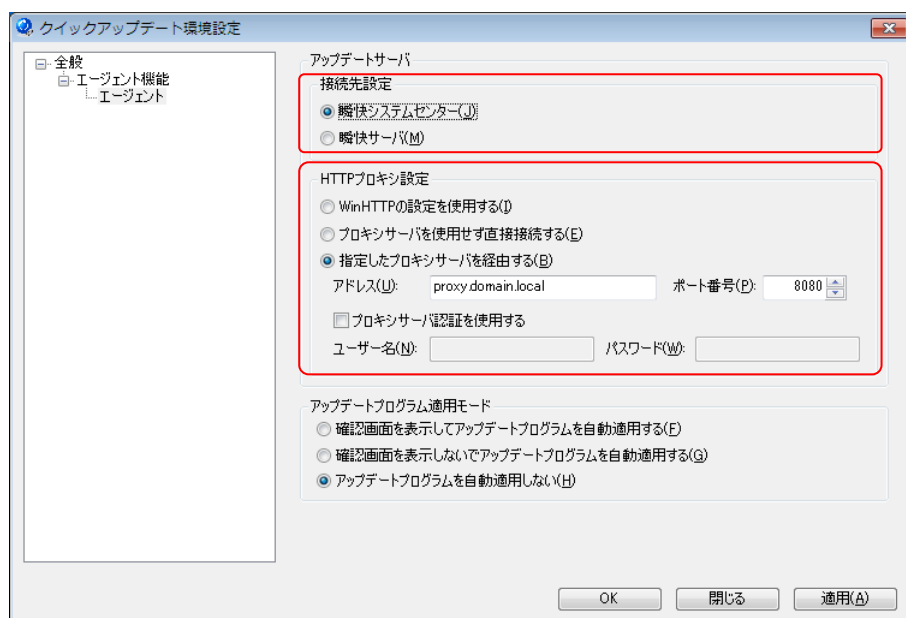
B) クイックアップデート エージェント機能の環境設定を行います

瞬快クライアントが瞬快システムセンターから、アップデートプログラムをダウンロードするための環境設定を行います。

- ① 瞬快クライアントを修復無効モードに変更します。
- ② [スタート]-[すべてのプログラム]-[瞬快 Ver.10]-[クイックアップデート]-[環境設定]を起動します。
- ③ 「エージェント」をクリックして、以下の設定を行います。

接続先設定： 「瞬快システムセンター」を選択します。

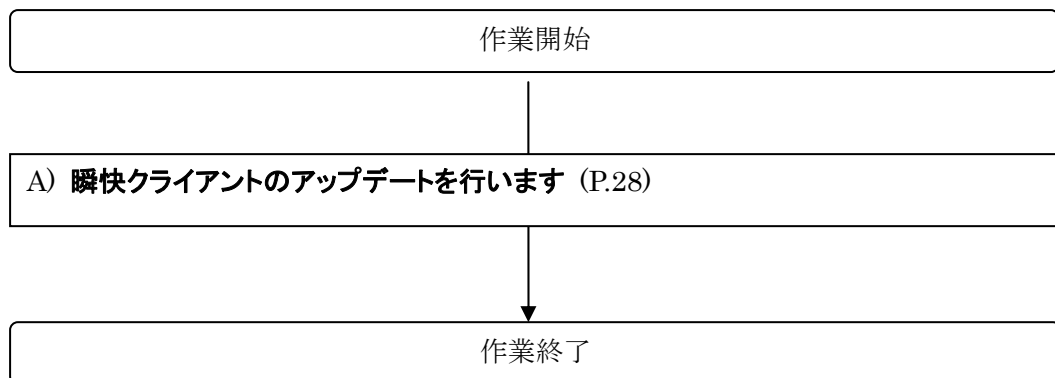
HTTP プロキシ設定： インターネット接続にプロキシサーバを使用する場合はプロキシ情報を設定します。



- ④ [OK]をクリックして、クイックアップデート環境設定画面を終了します。
- ⑤ 瞬快クライアントを修復モードに戻します。

3. 作業フロー

以下に作業フローを示します。



A) 瞬快クライアントのアップデートを行います

【注意】

瞬快クライアントのアップデートでは、コンピュータの再起動が自動的行われます。そのため **WindowsUpdate** やソフトのインストール等の操作が実行されていないことを確認してから、アップデートを実施してください。

- ① タスクトレイの瞬快アイコンを右クリックして、[クイックアップデート機能を使用する]-[アップデートを実行する]を選択します。

【留意事項】

瞬快クライアントはアップデートのために再起動を行います。

- ・瞬快クライアントが修復モードの場合：約 5 回、自動的に再起動が行われます。

- ② 瞬快クライアントがアップデートされたことを確認するには、タスクトレイの瞬快アイコンを右クリックして、[プロパティを表示する]を選択します。

- ③ バージョンが”Ver.10a”であることを確認します。



以上で、瞬快 Ver.10a へのアップデートは終了です。